

# 第8回 議員活動報告会



大好きな根室の為に  
誠実・勇気・挑戦

HomePage: <http://nimuoro.typepad.jp/honda/>  
Facebook: <https://www.facebook.com/toshiharu.honda>  
Twitter: @toshiharu\_honda

日時: 平成25年05月14日  
会場: 根室市総合文化会館第2講座室



# 3月議会の一般質問について

1. 自立可能な行財政基盤の確立と予算編成
2. 職員配置の適正化と人材育成への取り組み
3. 北方領土返還運動原点のまちとしてのスタンス
4. 市立根室病院の経営改革の見通しと目標
5. 学校統廃合に伴う旧校舎の跡地利用のあり方

# 自立可能な行財政基盤の確立と予算編成

- 第5次行政改革の基本方針(H22年度からH26年度までの5か年間)では
- 公債費の抑制 → 新規の市債発行を抑制し、市債残高の圧縮に努める
- 目標:建設事業充当の新規市債発行額 8億円以内

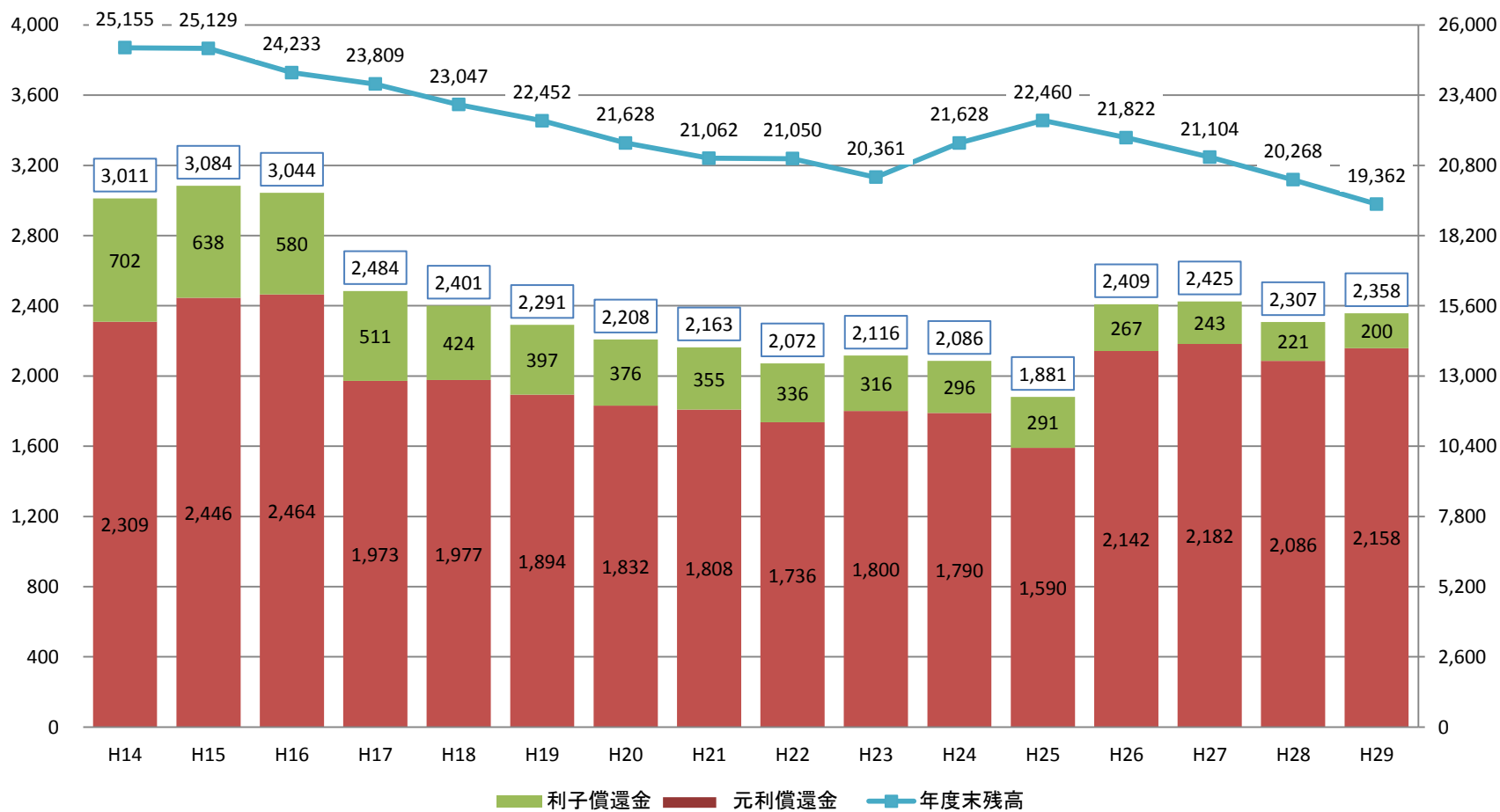


➤ 平成23年度	7億7千万円		
➤ 平成24年度	23億6千万円	(市債発行総額	30億5千万円)
➤ 平成25年度	16億9千万円	(市債発行総額	24億2千万円)



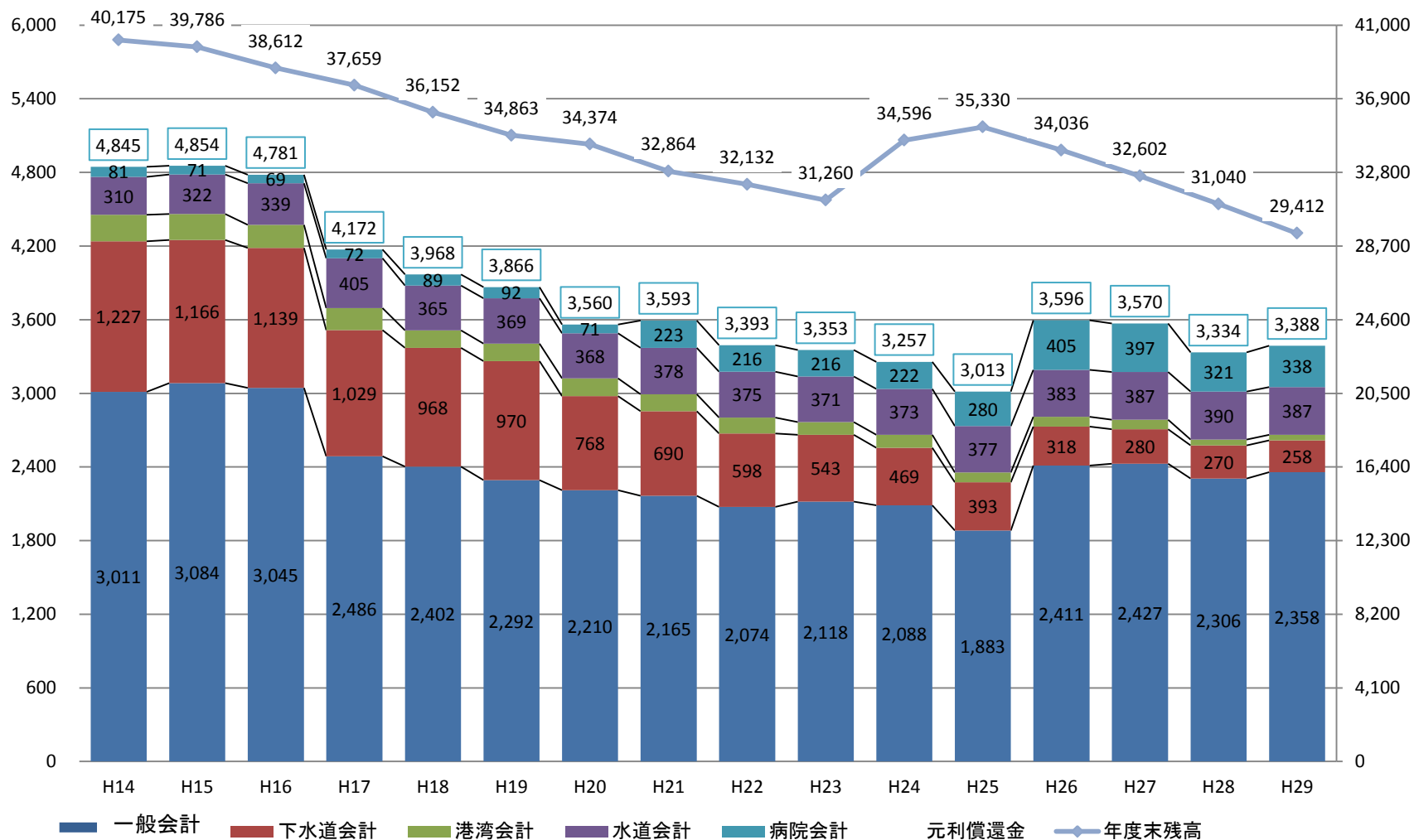
- 喫緊の課題である高齢化対策・防災・減災対策に係る事業が集中
- 国の有利な補助制度等を活用した結果

# 【一般会計】 地方債償還額・現在高の推移

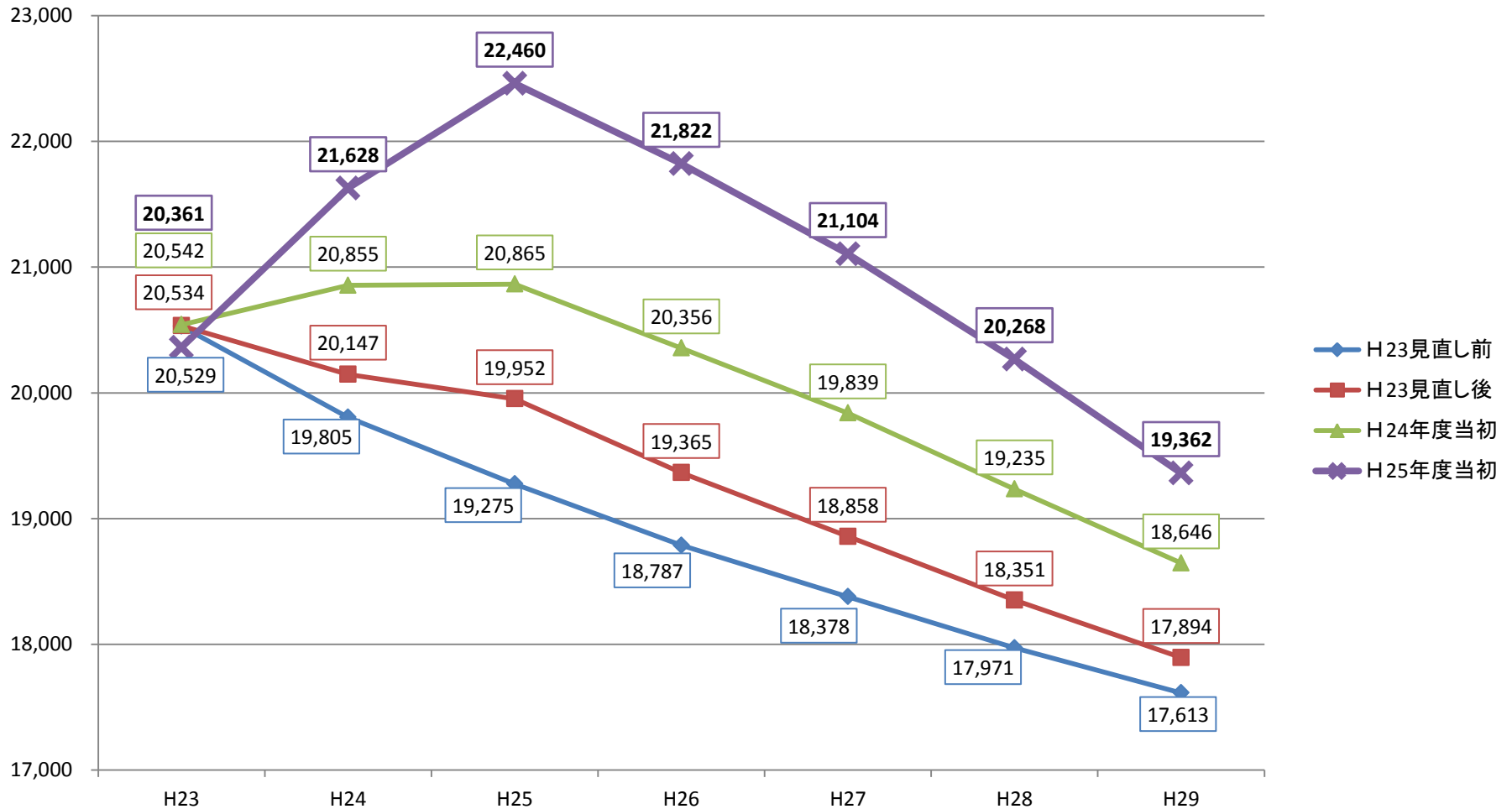


# 【全会計】

## 地方債償還額・現在高の推移

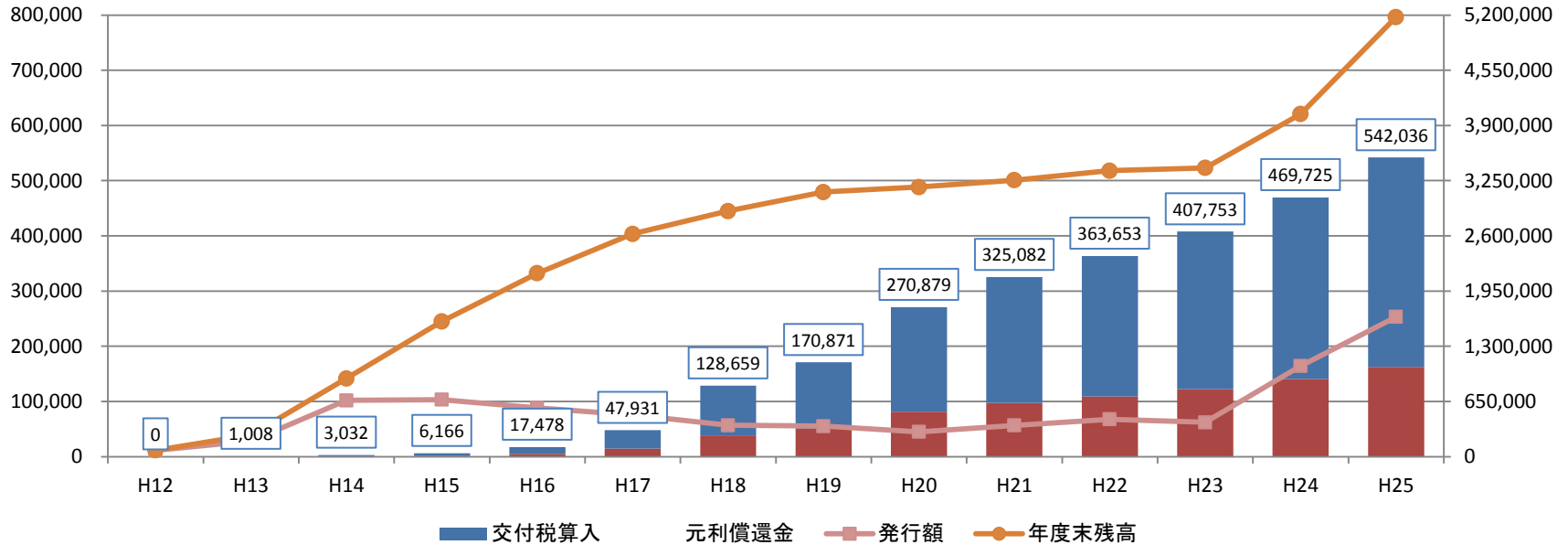


# 公債費 年度末残高の推移



H23見直し:H23元金償還開始予定の「公的資金借換債(4,486,500千円)」の元金償還3年据え置き(単年度約330百万円)  
 H24,25は、総合計画基本施策の重点項目化と加速的展開→「根室再興政策プロジェクト」  
 →8億円を上限としきた建設事業充当新規市債の発行額 **H24決算見込み 23億6千万円、H25当初予算16億9千万円**

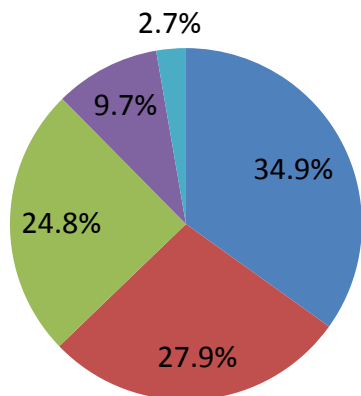
# 「過疎対策事業債」の推移



	H21	H22	H23	H24	H25
発行額	368,500	440,700	403,600	1,067,100	1,647,200
構成比	29.7%	25.6%	28.0%	34.9%	68.0%
交付税算入	(257,950)	(308,490)	(282,520)	(746,970)	(1,153,040)
元利償還金	325,082	363,653	407,753	469,725	542,036
交付税算入	227,557	254,557	285,427	328,808	379,425
実負担額	97,525	109,096	122,326	140,917	162,611
年度末残高	3,255,966	3,367,932	3,400,814	4,035,286	5,177,609
構成比	15.5%	16.0%	16.7%	18.7%	23.1%
主な事業	港湾整備負担235,500、道路舗装新設57,600、消防車整備60,500ほか	港湾整備負担154,400、医師確保対策134,200、消防車庫新築68,400ほか	医師確保対策141,700、消防車庫新築132,200、港湾整備負担82,300ほか	介護施設補助475,500、歯舞小新築224,700、医師確保対策147,100ほか	介護施設補助903,700、港湾整備負担224,000、医師確保対策144,500ほか

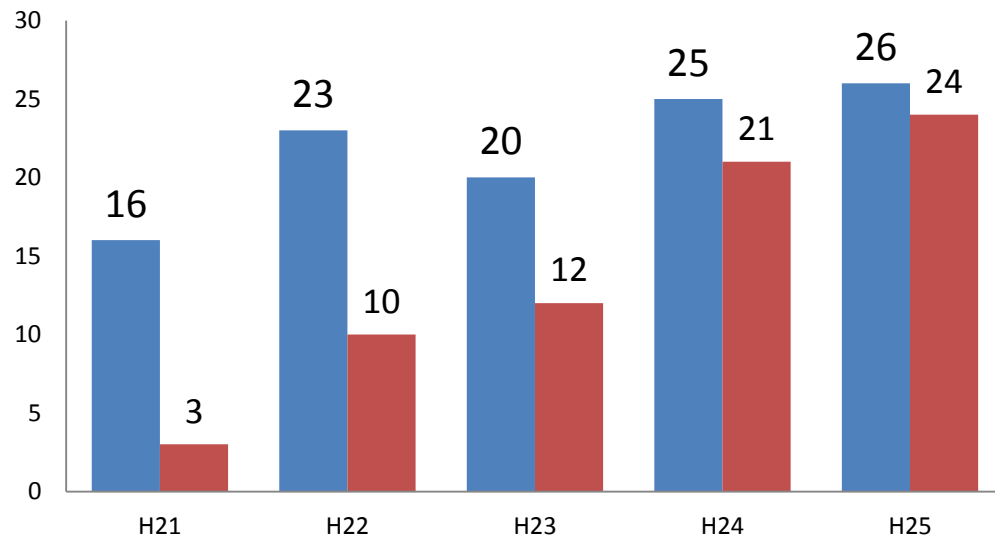
# 職員配置の適正化と人材育成への取り組み

職員年齢構成(一般職258人)



■ 51-60歳 ■ 41-50歳 ■ 31-40歳 ■ 21-30歳 ■ 20歳以下

- 年齢構成からみた退職者増への対応の検討？
- 計画的な若返り、適性な人員配置と人材育成への取り組みが必要
- 管理職になるまでに必要な研修カリキュラムの設定と受講の義務付けを検討してはどうか(提案)



■ 退職者の推移 3/31 ■ 新規採用者 4/1

退職者の推移 3/31

	H20	H21	H22	H23	H24
事務職	3	10	8	11	12
その他	13	13	12	14	14
計	16	23	20	25	26

新規採用者 4/1

	H21	H22	H23	H24	H25
事務職	3	8	5	13	13
その他	0	2	7	8	11
計	3	10	12	21	24



# 北方領土返還運動原点のまち としてのスタンス

- 最近、「北方領土問題」が動きだしそうな気配を感じており、同時に、「2島」や「3島」といった報道や「引き分け」発言なども聞かれる。
- これまで「四島を返せ」と叫び続けてきた元島民の心情を考えたとき、返還運動原点の地のリーダーとしてどのようなスタンスをとるべきなのか。
- 今一度、返還要求運動に対する市長の基本姿勢について伺う。

✓ 日本政府は従来から「我が国の固有の領土である北方四島の帰属の問題を解決して平和条約を締結する」との立場であり、「北方四島の帰属の問題が解決されれば、実際の返還の時期や態様については、柔軟に対応する」という基本方針

- ✓ 政府の立場や基本方針を支持することに一貫して変わりはない。
- ✓ 元島民、後継者や返還要求運動団体等と連携し、「北方領土問題の早期解決のための強力な外交交渉」を支える国民世論の喚起高揚のため、全国の先頭に立って、返還要求運動に邁進する。

# 市立根室病院の経営改革の見通しと目標

## ●市立根室病院の経営改革のあり方について

- 入院患者の減、一人当たりの入院単価の減要因について、考えられる様々な要因について詳細分析を行ない、具体的な改善目標を設定する作業が必要。
  - 新年度、どのような方針の下で経営改革を進めるのか、その見通しと具体的な目標は？
- ✓ 「地域完結型の医療提供体制の確立」と、「急性期医療を担う二次医療の役割」を基本
  - ✓ 「一・五次医療」としての地域密着型医療の役割も担っている
  - ✓ 新病院での診療がスタートし、施設や設備の充実による診療機能の向上を図った。
  - ✓ 今後は、よりレベルの高い医療を提供

## ●経営形態の見直しと病院機能評価について

- ✓ 「地方公営企業法の全部適用」を中心に検討を進め、今後、院内の合意形成を図りながら、平成25年度中に方向性と結論を示したい。
- ✓ 病院機能評価の受審に向けては複数年を要することから、引き続き、職員意識の醸成を図るとともに、対応する医療スタッフの体制も見極めながら、受審の準備を進める。

## ●病院経営に係る組織づくりについて

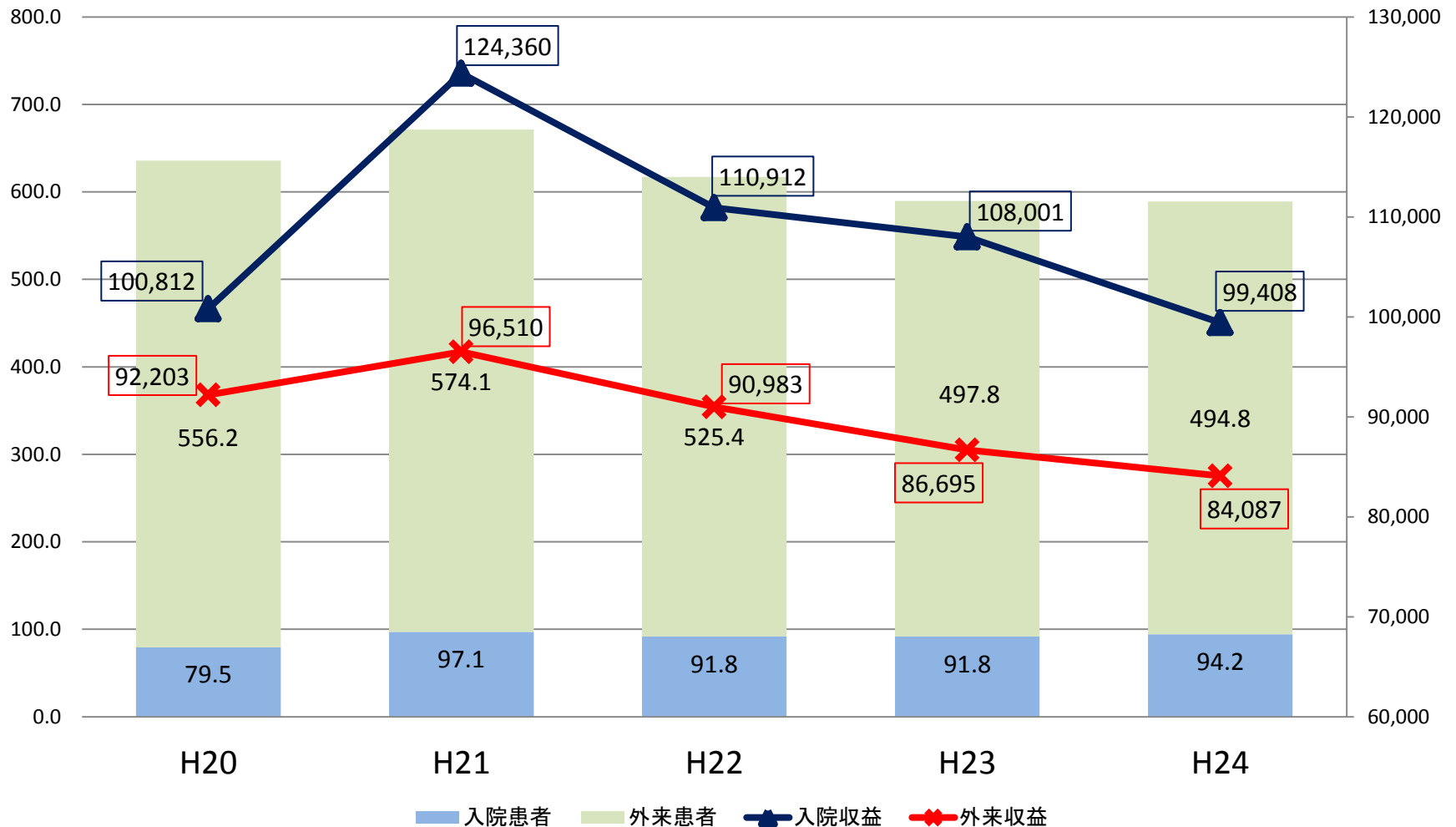
- 平成25年度は何としても病院経営に見通し、道筋を付けなければならない年度であり、それなりの組織づくりが必要と考える
- ✓ 「病院機構改革構想」に基づき、順次、組織機構の見直しを行っており、事務局についても課の新設や再編など、改善を進めてきた。

# 一日当たり患者数・診療単価

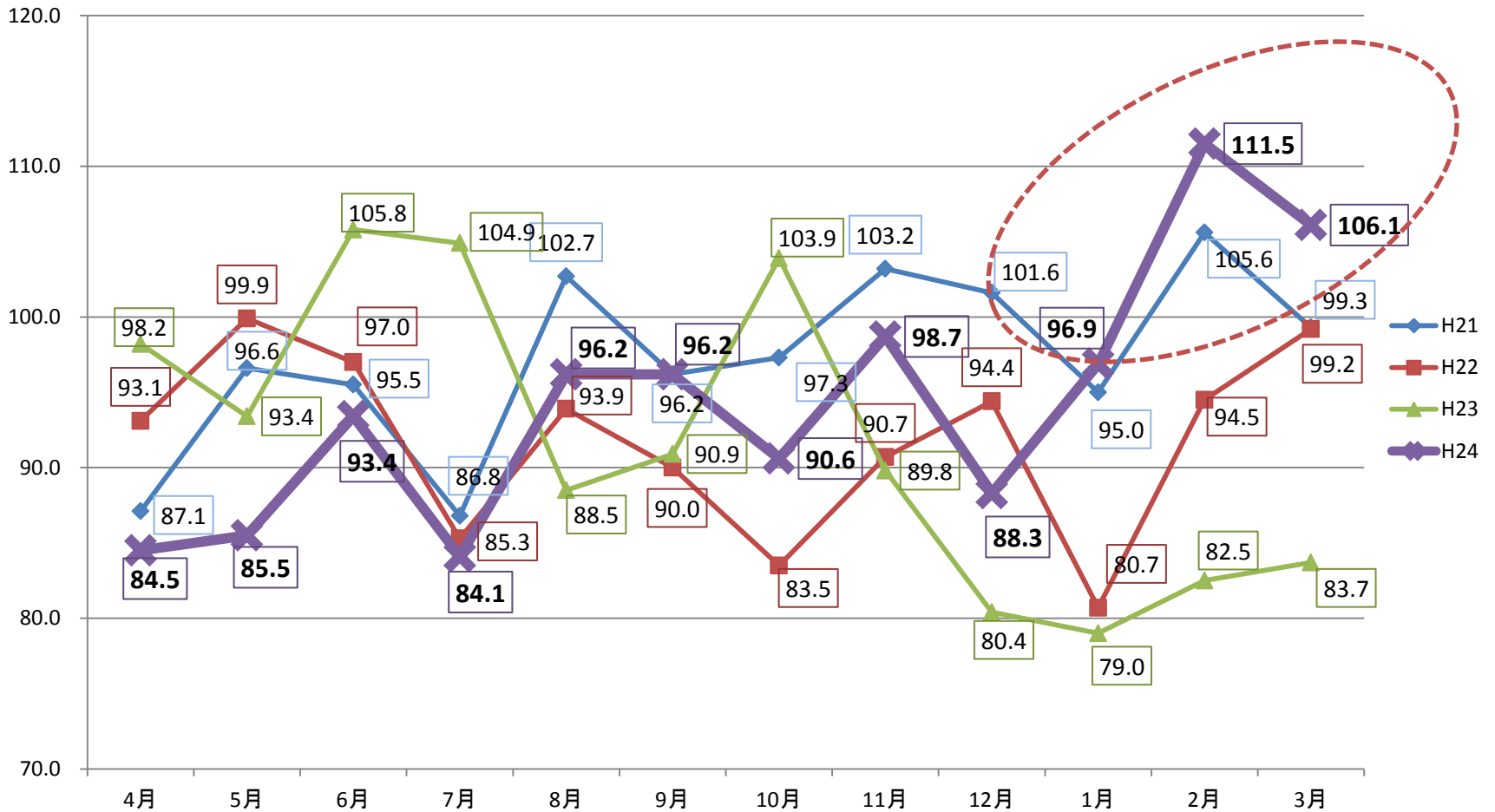
	入外区分	一日当たり患者数	一日一人当たり単価		入外区分	一日当たり患者数	一日一人当たり単価
H24当初予算	入院	91.5	37,900	改革プラン	入院	106.2	40,975
	外来	528	8,536		外来	570.3	8,316
※決算見込み	入院	93.4	35,406				
	外来	488.0	8,235				
3月末実績	入院	94.2	34,691				
	外来	494.8	8,275				

	入外区分	一日当たり患者数	一日一人当たり単価		入外区分	一日当たり患者数	一日一人当たり単価
20決算	入院	79.5	42,269	改革プラン	入院	85.5	40,024
	外来	556.2	7,894		外来	551.7	8,080
21決算	入院	97.1	42,077	改革プラン	入院	115.5	39,051
	外来	574.1	8,335		外来	637	7,917
22決算	入院	91.8	39,700	改革プラン	入院	104.9	42,122
	外来	525.4	8,549		外来	598.3	8,409
23決算	入院	91.8	38,587	改革プラン	入院	105.3	41,007
	外来	497.8	8,565		外来	563.9	8,522

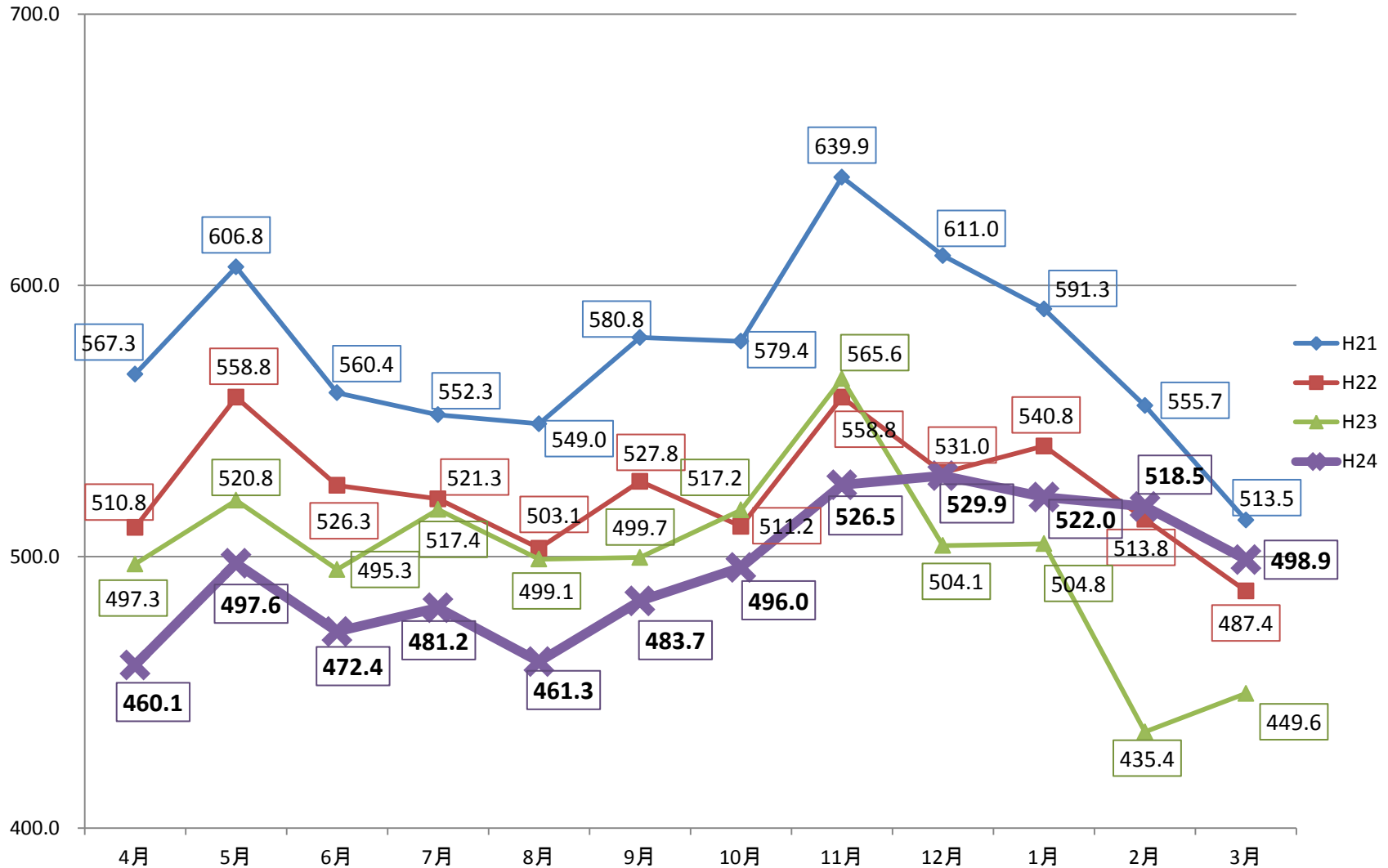
# 患者動向及び月平均診療収入の推移



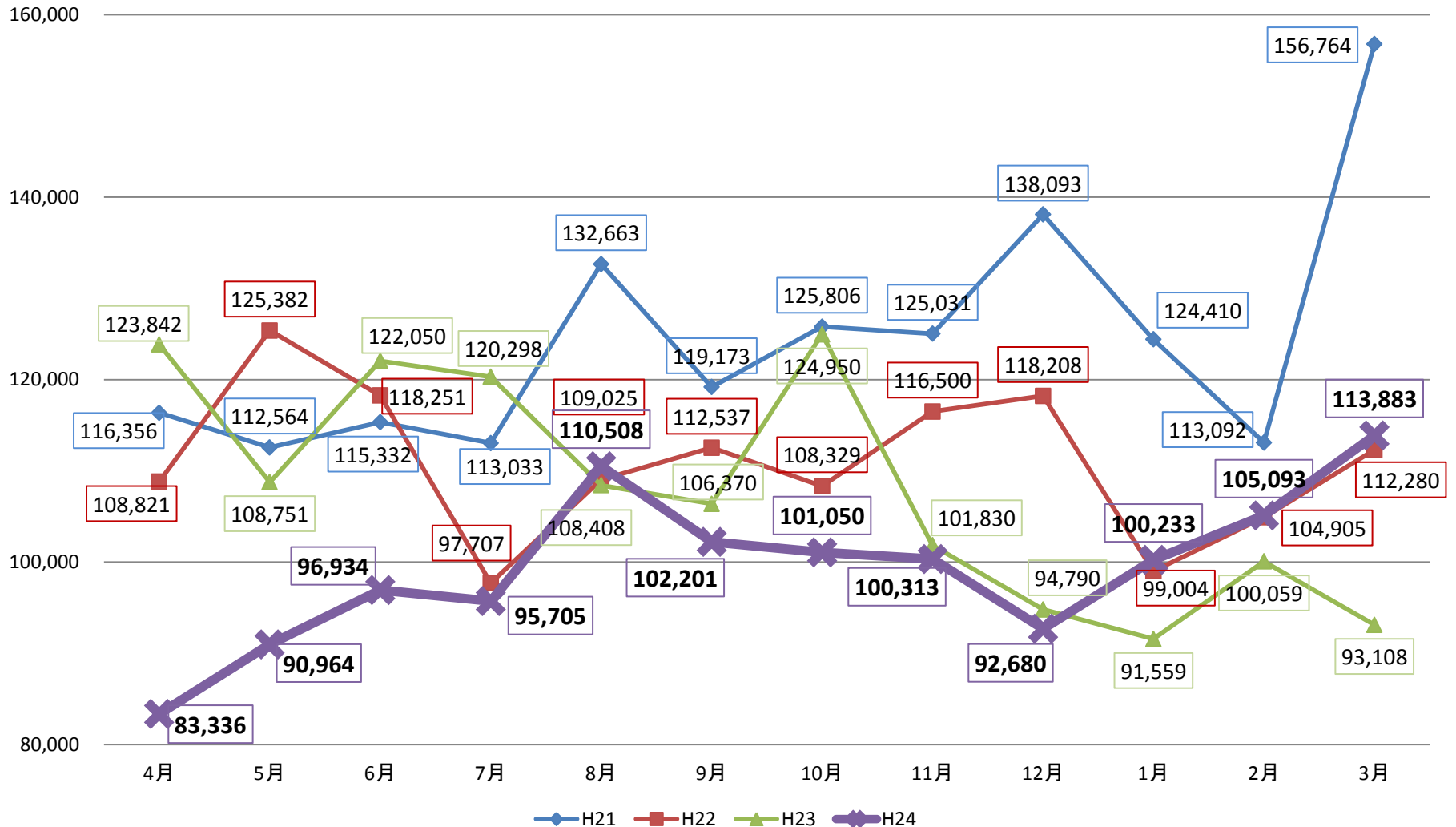
# 月別一日当たり入院患者動向実績



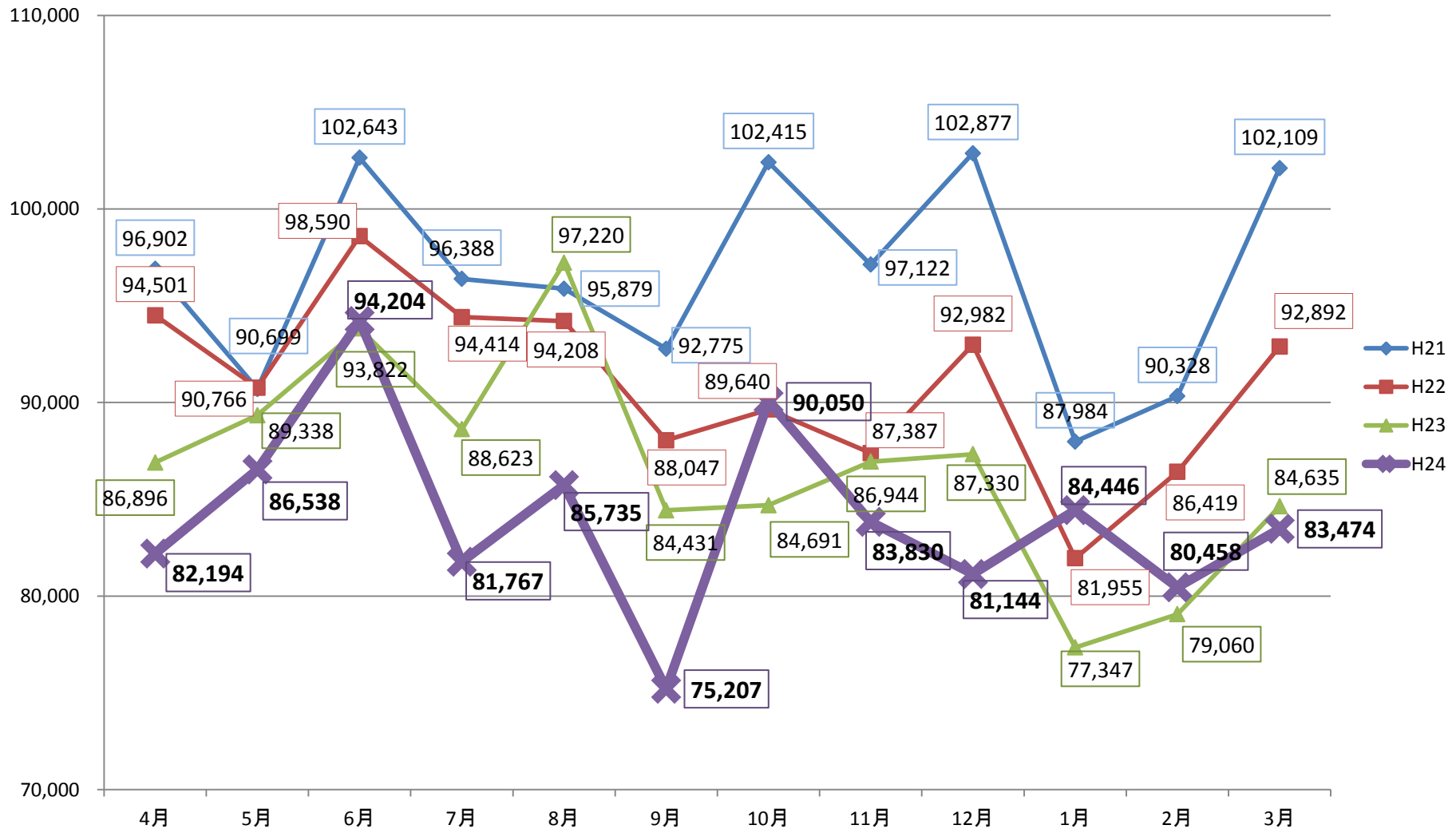
# 月別一日平均外来患者動向実績



# 月別入院収益の動向



# 月別外来収益の動向



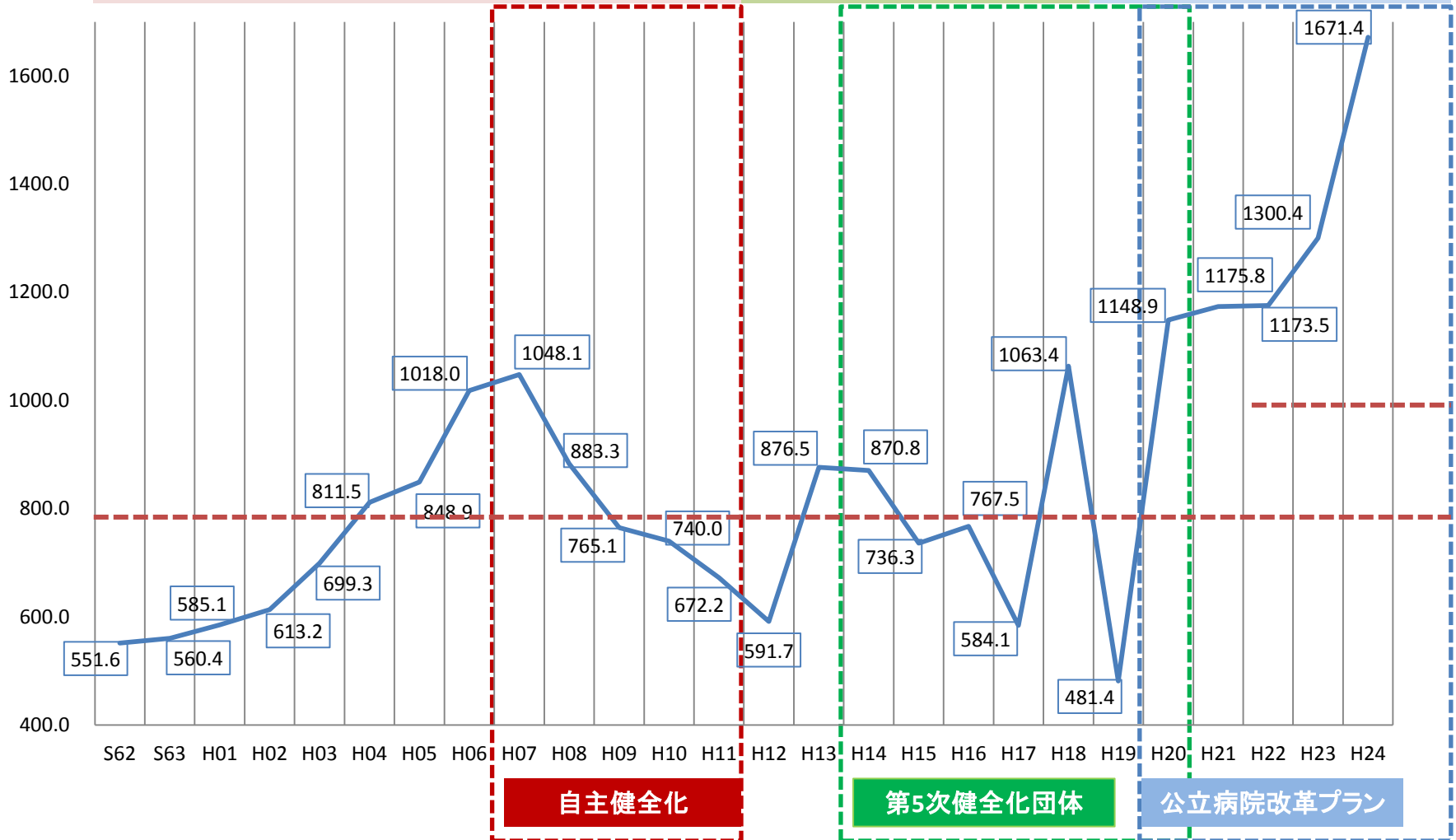


# 一般会計繰出金の推移

← 東京医科大学

旭川医科大学 →

札医大・個人招へい →



自主健全化

第5次健全化団体

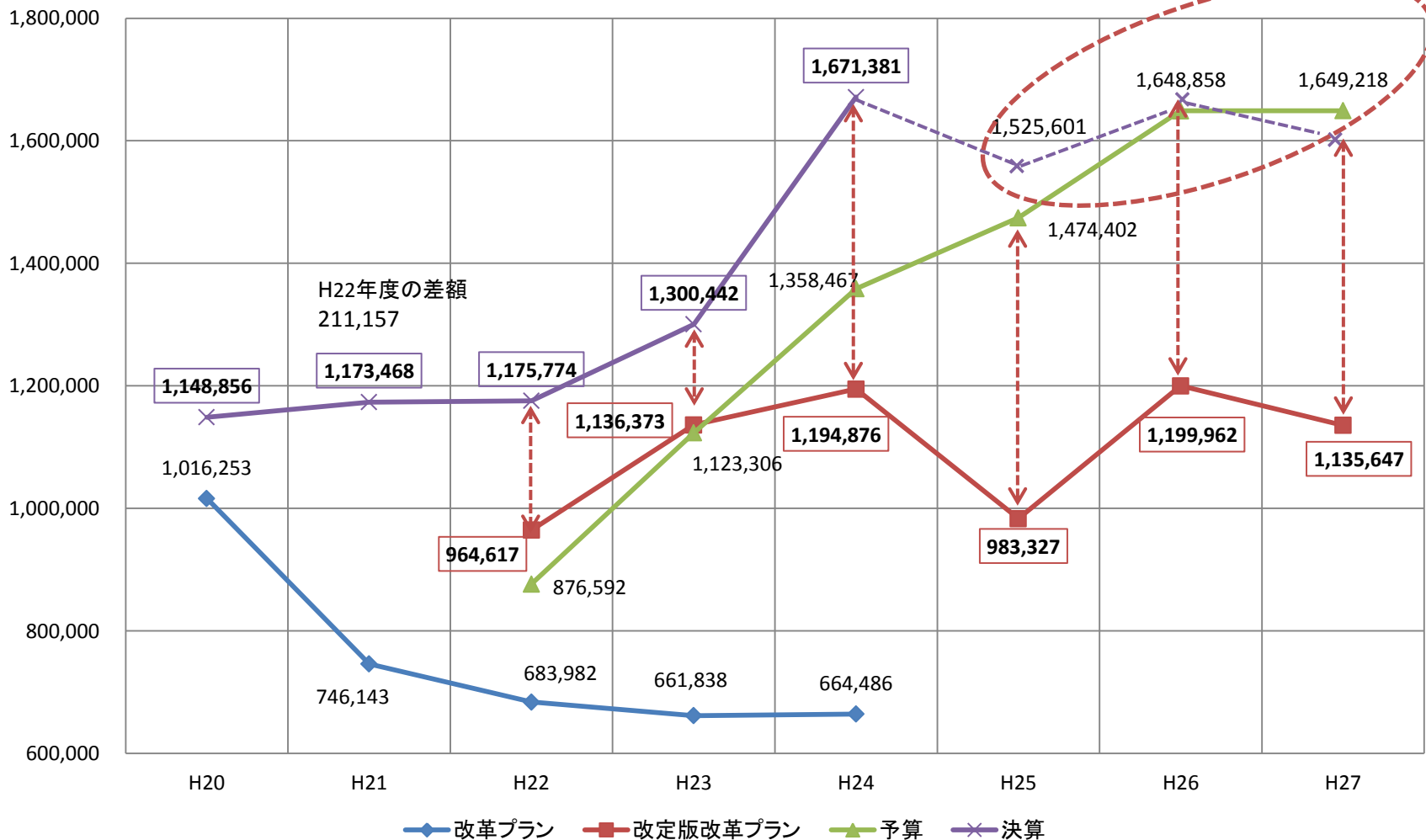
公立病院改革プラン

H16 新医師臨床研修制度

# 一般会計繰出金の推移

## ～改革プラン→新収支見通し(2012/11のH25-27推計)

(単位: 千円)



# 年度別診療体制の状況

診療科目	平成23年4月				平成24年4月見込（予算）			平成24年12月現在			平成25年4月現在		
	常勤	年度末	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計
内科	5	4	3	8	5	3	8	5	3	8	6	3	9
外科	2	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1	3
整形外科	2	0	1	3	1	1	2	2	0	2	2		2
小児科	1	1	1	2	1	1	2	1	1	2	2		2
産婦人科	1	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	1	2
泌尿器科			1	1		1	1		1	1		1	1
人工透析	1	1		1	1		1	1		1	1		1
眼科	1	1		1	1		1	1		1	1		1
皮膚科			1	1		1	1		1	1		1	1
耳鼻咽喉科			1	1		1	1		1	1		1	1
麻酔科	1	1	1	2		1	1		1	1		1	1
脳神経外科												1	1
計	14	11	11	25	12	11	23	13	10	23	15	10	25

# 新病院建設に向けてチェックが必要な事項 現状の問題点・課題について

※第1回報告会資料より

## ・療養病床の必要性と今後の取り組みについて

1. 根室市内に療養型病床の設置を必要とするのか
2. 保健、福祉、介護と病院の連携でどの様に解消できるのか
3. 市内の患者動向(急性期、回復期、慢性期)
4. 医療療養型病床での入院治療が必要な患者の動向分析
5. 釧路も含め近隣市町の療養病床の実態と市民の入院の状況

## ・患者サービスの視点

施設のアメニティ  
患者サービスの為の機能・規模  
これまで感じていた不便がどう解消されるのか

## ・建設費を含めた収支計画について

1. 建設期間中の現行病院での収支見通、新病院移行後の収支見通しを一連で(診療科別の医師体制、患者数、収入見込み等を含め)
2. 150床の診療科別配分
3. 常勤医師体制及び応援体制についての目標
4. 看護師確保・コメディカルスタッフ等具体的な人員配置計画
5. 新たな収入確保対策項目と具体的な目標
6. 費用削減項目と具体的な目標
7. 損益分岐点について(収支均衡を図るための目標)

## ・医師や看護師の確保対策

医師招へいの見通  
看護師の確保の見通し  
市民にできることはないのか?

## ・病院経営は大丈夫なのか

将来負担はどうなるのか  
市全体の計画への影響はないのか

## ・一般会計繰出金の見通し

## ・基本構想、基本計画に盛り込まれていない事項

1. 亜急性期病床の検討
2. 人間ドック・健診等を行うセンター機能についての検討
3. 病院機能評価に基づく施設整備

## ・新しい病院になって何が変わるか

病院の経営理念は  
患者の権利について  
職員の接遇やマナーは

# 学校統廃合に伴う旧校舎の跡地利用のあり方

- 歯舞地区の四小学校が歯舞小学校に統合される。
- 跡地利用については、現状どのような取り組み状況にあるのか。
- また、今後、どのような体制でこの課題に取り組むのか。

## 【市長部局の対応】

- ✓ 地域の避難所やドクターヘリ離発着場等としての機能を維持したい
- ✓ 施設の耐震性や立地条件、さらには財源の問題など、検討すべき課題も多いことから、現在、「施設の跡地利用に関する庁内会議」による協議を重ねている。
- ✓ 当面は、避難所等の位置付けを維持するとともに、地域要望にも対応しながら、引き続き、地域住民はもとより全市的な意見や要望等を広く聴取し、利用計画の具体化に努めたい。

## 【教育委員会の対応】

- ✓ 歯舞地区の4小学校校舎の跡利用とグラウンドの跡地利用については、「歯舞地区小学校統合準備委員会」を通じて、スポーツ少年団活動の使用についての要望がよせられている。
- ✓ 平成25年度の入居状況を勘案し、使用が見込まれない教職員住宅について、跡利用の検討に入る
- ✓ 旧和田小学校については、校舎を「歴史と自然の資料館」の付属収蔵庫
- ✓ 旧幌茂尻小学校については、校舎を教育委員会倉庫として利用
- ✓ 旧和田、旧幌茂尻小学校両教員住宅については海星小中学校の教職員住宅として活用
- ✓ 両グラウンドについては地域の避難場所となっている。
- ✓ 落石地区における昆布盛小学校の校舎・屋体・グラウンド・教職員住宅については、設立予定の統合準備委員会を通じ、地域の意見を聴取

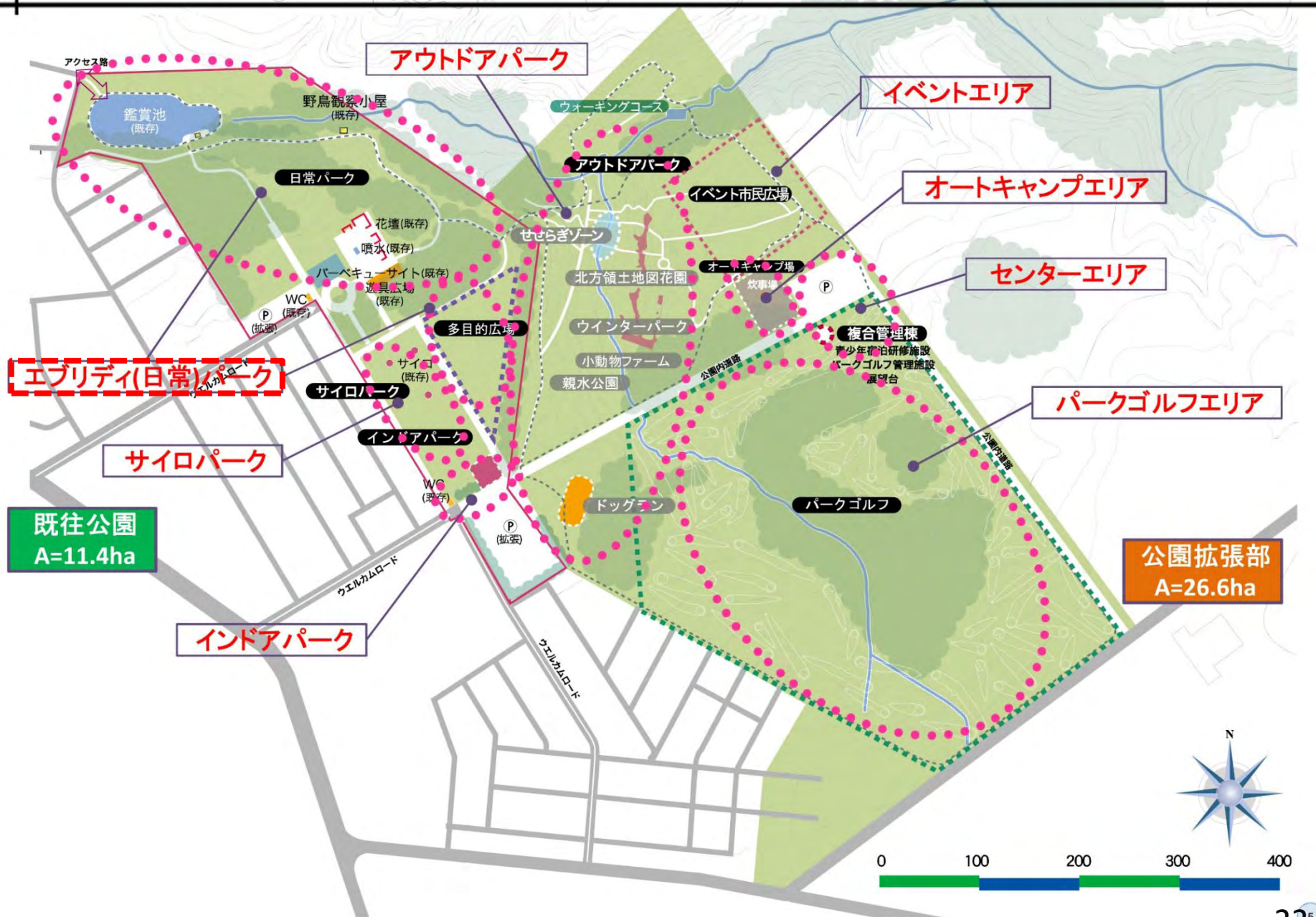
# 明治公園憩いとふれあいの森 基本構想提言

- 平成24年2月「明治公園憩いとふれあいの森整備構想市民アンケート調査」実施
- 平成24年8月28日「明治公園憩いとふれあいの森整備構想市民委員会」発足
- 委員は関係団体からの推薦11名。一般公募2名 計13名で構成
- 明治公園のランドマークである「3基のサイロ」を最大限活用するとともに最も要望のあった「室内遊戯施設」を核とした整備構想策定
- 7回の会議と中標津ゆめの森公園等を視察
- 平成25年4月18日 市長へ提言
- 平成25年5月10日 議会へ説明

平成27年スタートの次期総合計画策定作業のなかで、優先順位・規模等を比較検討した上で、事業実施の有無を判断するとのこと。  
(議会議員協議会の説明)

# 基本構想図

整備構想A=38.0ha

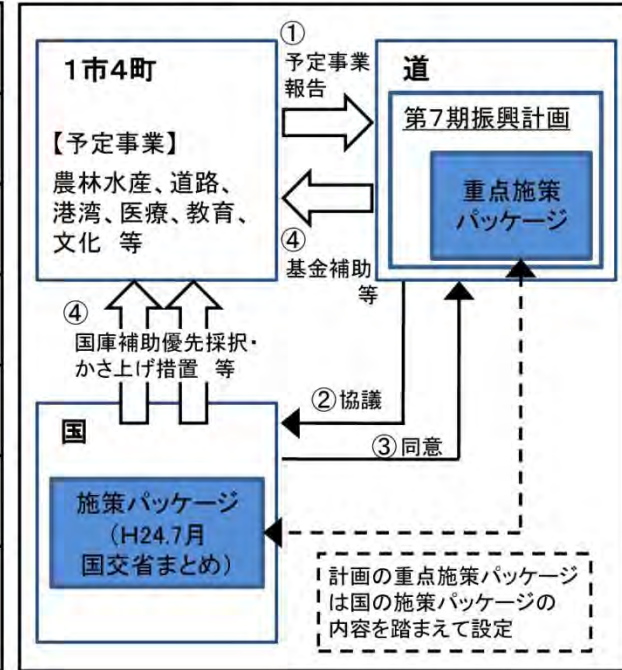


# 第7期北方領土隣接地域の振興及住民の安定に関する計画

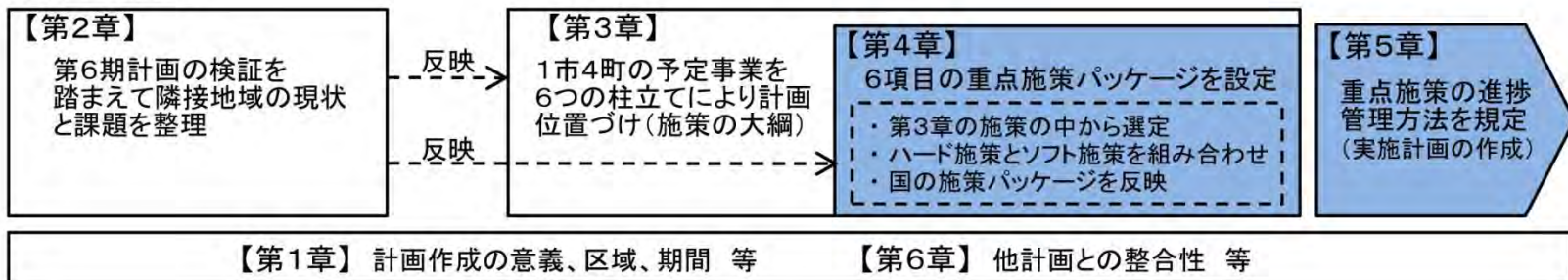
## 1. 北方領土隣接地域振興計画について

根拠法令	北方領土問題等の解決の促進のための特別措置に関する法律 北方領土問題等の解決の促進を図るための基本方針
計画の性格	北方領土隣接地域を安定した地域社会として形成するのに資するために必要な施策の大綱を示す
第7期計画の期間	平成25年度から平成29年度までの5ヵ年
対象区域	北方領土隣接地域1市4町 (根室市、別海町、中標津町、標津町及び羅臼町)
他計画との整合性	北方領土隣接地域1市4町の総合計画、北海道総合開発計画及び北海道総合計画との整合性に配慮
計画策定の効果	国庫補助率のかさ上げ措置、地方債の財政融資資金引受け配慮、特別交付税措置、北方基金補助金
第7期計画作成経過	1月 9日 素案まとめ、パブリックコメント (1/10～2/11) 4月 12日 道計画決定、国へ同意協議 26日 国同意

## 2. 7期計画作成の流れ

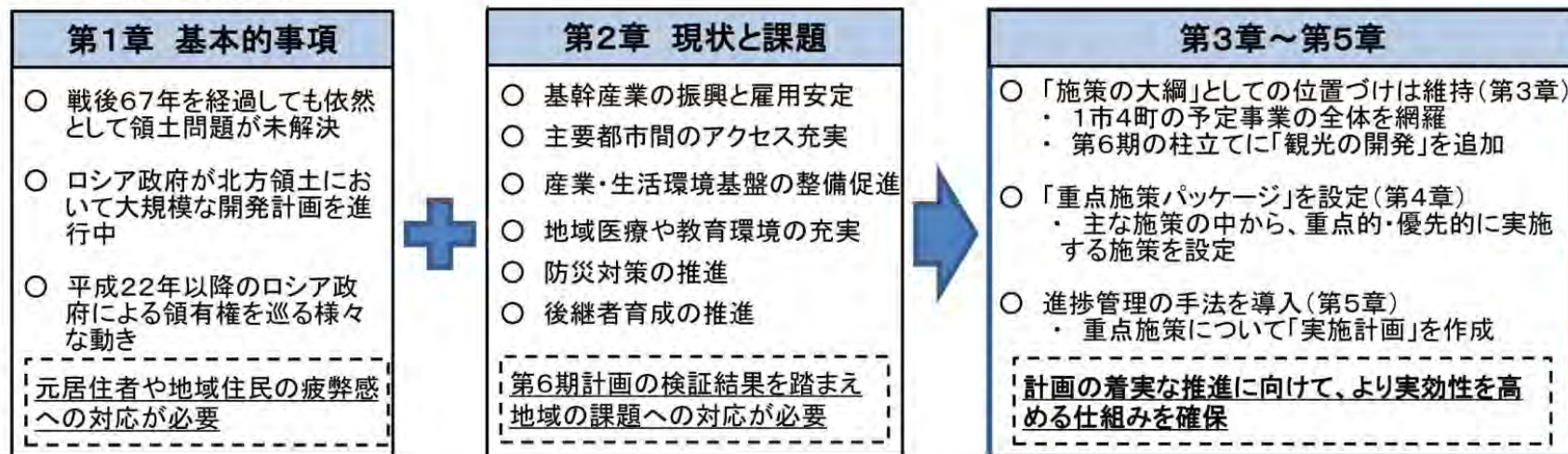


## 3. 計画の構成





#### 4. 各章の主な概要



#### 5. 重点施策パッケージの主な施策

区分		主な重点施策	関連分野
1 基幹産業の付加価値向上に向けた基盤の整備	水産業	水産資源の安定確保対策、品質・衛生管理機器の導入促進、国内外への需要拡大に向けた取組と基盤整備	水産業、商工業、道路
	農業	草地造成や環境保全型かんがい排水施設の整備、営農支援の取組、飼料自給率向上に向けた取組促進、乳製品の付加価値向上の取組	農業、商工業、道路
2 新たな観光メニュー創造に向けた基盤整備		交通基盤の整備、通年・滞在型観光への転換に向けた観光メニューの開発・試行、観光拠点や情報提供基盤の整備、教育旅行の誘致促進	観光、道路、港湾、空港
3 四島交流の玄関口となる拠点機能の整備		港湾施設の整備促進、街中のにぎわい創出の取組、歴史的建造物の保存、領土問題啓発施設の整備	港湾、観光、商工業
4 安定した医療体制の確保と高度医療へのアクセス基盤の整備		医療従事者の安定的な確保の取組、交通基盤整備やドクターヘリの安定運航、遠隔医療支援システムの導入促進、将来世代への支援	医療、道路、教育
5 災害に強い地域づくりに向けた基盤整備		地震及び津波による被害防止・軽減のための社会資本整備の促進、防災体制の充実強化の推進、防災分野での日口協力体制の促進	国土保全、防災、道路、教育、観光
6 持続的な地域発展の基礎となる次世代・後継者対策		子育て支援関連施設の整備、移住希望者や農業・水産業への新規参入希望者への支援、各種産業における人材育成の充実、将来世代への支援	福祉、農業、水産業、教育、雇用

# 議会改革について

- 議会基本条例制定（平成24年12月議会）
- 6月議会より一般質問に一問一答制が導入される予定
- 改選後の9月議会からは通年議会へ
- 議員相互間の自由な討議
- 政策提言、条例提案が求められます！

**これからが本当の改革です。**

# 第1章 総則

---

## • 目的

- 根室市議会の基本理念、基本方針その他の議会に関する基本的事項を定める
- 議会がその権能を発揮し、真に市民の負託に応える
- 市政の発展並びに市民の生活及び福祉の向上に寄与する

## • 議会の活動原則

- 市民を代表する議決機関として市政運営を評価及び監視
- 政策立案、政策提言機能の充実強化に努める
- 市民に開かれた議会として情報公開と説明責任
- 市民にわかりやすい議会運営
- 市民参加の議会

※議会は言論の府・合議制の機関である

## • 議員の活動原則

- 市民全体の福祉の向上のため活動する
- 不断の研さんに努め、市民の代表としてふさわしい活動
- 議員間は平等、議員相互間の自由な討議を尊重

# 第2章 市民と議会の関係

---

- **市民参加及び市民との連携**

- すべての会議を原則公開とする
- 議会活動の積極的公開と説明責任
- 懇談会等を開催、民意を反映
- 専門的又は政策的識見等を議会の討議に反映
- 請願及び陳情は市民による政策提言であり提案者の説明、意見を聴く機会を設ける
- 議会報告会等を開催

- **市民意見の反映**

- パブリックコメント等により民意の反映に努める

- **議会広報の充実**

- 議会活動を「議会だより」で定期的に市民に公表
- 多様な広報手段の活用に努める

# 第3章 市長等執行機関と議会及び議員との関係

---

- **市長等と議会の関係**

- 議会と市長等は、議会審議の緊張感の保持に努めなければならない
- 議員の質問は一問一答方式等で行う
- 市長等の反問権を定める

- **市長の政策等の形成過程の説明責任・情報公開**

- 市長に政策等の形成過程の情報開示を求める
- 政策等の執行後における政策評価に資する審議に努める
- 市長に対し、予算・決算審査のための施策別又は事業別の分かりやすい政策説明資料の作成を求める

- **議会の議決権の拡大**

- **議会の議決すべき事件の追加を積極的に活用を規定**（地方自治法第96条第2項）

- **採択請願への対応**

- 請願中市の事務に関するものについて、市長等の対応についての議会報告の義務付け

- **文書質問**

- 議案、政策、施策等に対する市長等への文章質問

# 第4章 議会の組織体制等について

---

- 討論による合意形成及び政策提言等
  - 議員相互間の自由な討議と意見集約に努める
  - 議員相互間の論議と合意形成に努める
  - 政策提言及び条例制定の提案に努める
- 通年議会
  - 定例会の回数を年1回とし、会期を通年とする
  - 速やかな議会運営、災害等突発的事件や緊急な行政課題への対応
- 委員会中心主義と委員会の適切な運営
  - 委員会の専門性と特性を活かす
  - 委員会独自の調査研究に努める
  - 市民等との懇談会等を積極的に行う
  - 審議資料等の積極的な公開
- 会派
  - 会派の結成
  - 会派は、政策を中心とした同一の理念を共有する複数の議員で構成し活動する
  - 会派間における調整を行なう
  - 会派に属しない議員の活動を制限するものではない

# 議会改革セミナー

※第1回報告会資料より

## 「議員の使命と議会改革」

講師：拓殖大学地方政治センター長、自治体議会政策学会会長 竹内 譲氏

- **地方を変えるためには、議員が変わらなければならない。**
- これまでは一般質問が議会の花形であるが、これは議員一人ひとりの要求である。
- 職員の説明を聞きそれだけで判断しているのであれば、それは行政の一部であり、行政の中に埋没している。
- 職員の説明は1つの側面から自分達はこうありたいという説明である。
- 職員と違う立場で、**市民は、現場は、どう望んでいるのか調べ審議**すること。
- **国が、法律がどうしても、市民の利益を代表すること、住民のためにやるのが本来の姿。**
- また、議会は、意思決定機関であり首長の提案を直せというのが本来の姿。
- 議案審議能力を高めること。
- 議会を合議体とするためには、議員が行政の中身を分る必要があり、行政の中身を市民に説明する必要がある。
- 住民の代表であり、自治体の一部ではない。

議会改革は、議員定数の削減問題を含め、議会のあり方をしっかりと整理すること、議会の透明性を高めること、何よりも、市民のための議会であることを前提として改革に取り組んでいかなければならないものと考えております。

# 一般質問として取り上げた事項

質問項目	主な経過	回数
<b>新病院建設及び病院経営について</b> 医師、看護師等確保対策、改革プランの実効性、医療情報システム、繰出金問題、医療療養病床、組織体制、経営形態の見直し、市民ボランティア、新病院アメニティ問題等々	21③、④、22①、②、③、④、23①、②、③、④、24①、②、③、④、25①	15
<b>ICT・地域情報化及び庁内ICTについて</b>	21③、④、22②、23③、24③	5
<b>政策評価・情報公開について</b>	21③、24③	2
<b>観光振興策について</b>	21④	1
<b>医療・保健・介護の連携について</b>	22①、24②	2
<b>北方領土問題及び四島交流事業について</b>	22③、23①、23③、24④、25①	5
<b>まちづくり・産業振興策・商店街活性化について</b>	22③、23①、24①、24②	4
<b>行政改革と人材育成について</b>	22④、24①、25①	3
<b>都市計画マスタープランについて</b>	22④、24③	2
<b>財政問題について</b>	23④、24③、24④、25①	4
<b>教育問題(学力低下問題)について</b>	23④、25①	2

※24③は企画・人事・財政問題を一括質問